

生産技術革新部門

富山県高岡市 株式会社クボタファーム紅農友会
(代表取締役：山口 やまぐち 義治 よしはる 氏)



- 経営規模：123.4ha（水稻97.3ha、小麦15.3ha、にんじん3.5ha、さといも1.8ha、キャベツ1.1ha他）

(注) 数字は令和元年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 株式会社クボタファーム紅農友会は、前身の有限会社紅農友会の規模拡大に伴い、農業経営を新たな発展ステージに進めるため、農機販売会社及び地元JAに株式の一部を譲渡し平成29年に組織変更。
- ・ 水稻を主力に、にんじんやさといも、キャベツ等による複合経営を展開。ほ場内の作業順路・直進・旋回をアシストする機械（田植機、トラクター、コンバイン）を活用したスマート農業が展開され、省力化を実現。
- ・ 農業機械が自動送信する位置情報や水田毎の作付作物、肥料散布情報、作業内容を統合するマップシステムを活用し、社員間の情報共有や作業進捗管理、低収圃場の改善対策の策定に取り組んでいる。
- ・ 食味・収量を計測するコンバインの情報を乾燥施設へ自動通信することで、食味別の受け入れが可能となり、食味区分したロット管理を実現し、有利な契約取引の成約につながるなど、単収・食味向上に向けた従業員のモチベーションがアップ。

スマート農機を効率的に運用し、作業効率を向上させることで、規模拡大に伴う農作業の分散化に対処している点がポイント。